

## 看護師の業務に関するフランスと日本との比較

	フランス		日本
	一般看護師	Advanced/Specialist	
○外科的・侵襲的処置			
創処置/デブリーメント	B	スペシャリストとしての看護師には小児看護師、麻酔看護師、手術室看護師がある。	B
静脈血採取	B	麻酔専門看護師は、 ①麻酔専門医師が至近距離におり ②麻酔医が診察を行い ③プロトコールを作成し ④指示した後 に患者に以下の行為ができる。 1) 全身麻酔 2) 部分麻酔および麻酔医により装置 (硬膜外カテーテルなど)が設置された あとの麻酔薬剤の再注入 3) 手術直後の覚醒 4) 麻酔医の主導によるプロトコールの実践 5) 手術直後における覚醒室での経過 観察 ※1)2)3)は日本では <b>医師の指示があつても看護師はできない行為</b> 4)5)は医師の指示で看護師が単独で できる行為	B
動脈血採取	B		C
○注射			
中心静脈路(血管)確保	B		C
静脈注射(ワンショット)	B		B
その他の注射(筋肉、皮下、皮内アレルギーテスト)	B		B
○基本的看護ケア			
保清(入浴、清拭など)	A		A
排泄ケア(浣腸や排便の実施)	B		B
排泄ケア(膀胱カテーテルの留置や抜去)	B		B

注1) A: 看護師が判断・決定し、実施    B: 医師の指示で看護師が単独で実施    C: 看護師は実施しない/できない行為

出典: 「諸外国における看護師の業務と役割に関する研究」(厚生労働科学研究 2001年度)